

〈御馳走が降ってきた!〉



「いや～久しぶりのごちそうだな♪」
「この時期は時々こうやって間抜けなイモムシが落ちてくるから、らくちんだよね!(^~^)!」

「これだけの大物なら子どもたちにも腹いっぱい食べさせられるね(^0^)」

「こいつまだ生きているから結構暴れるぞ、絶対逃がすなよ(^-^;)」

「任せとけて、4人(匹)いれば逃げられるもんか」

「おいおい、お前どこにいるんだよ!イモムシの上に乗ってたら重くなるだろ!」

「いや～、ごめんごめん。あまりに新鮮で旨そうだからさ、チョットかじってみたくなったんだよ(^0^)」

「あのさ～、俺たち働きアリは餌を見つけて運ぶ使命があるんだから、しっかり役割を果たしてくれよ!!」

「お言葉ですが私たちは一応メスなので“オレ達”はナシにしてくださいね」

「……………」



「おっ、こいつ頭持ち上げて暴れ出したぞ、逃げられないように大あごでしっかり食いついとけよ!」

「急げ急げ、もたもたしてるとスズメやムクドリに見つかってせっかくの大物を横取りされちゃうぞ!」

「おい、1人(匹)いなくなったぞ!」

「しょうがないよ、“1割のアリは働かなくて働かないことにも意味がある”なんていう研究もあるんだからほっとけほっとけ、それより早く巣まで運ばなくち



や!」。

じっと見ていたらアリの会話が聞こえてきました。